

7 月 28 日 : VN 指数は 3 日続伸するも売買代金の減少が続く

ホーチミン市場の売買代金は 13 兆ドンを超えただけと出来高は低水準で、マーケットは高安まちまちとなった。

週明け 2 日間の上昇は、さらなる好地合いに繋がらなかった。

出来高はマーケットの重しとなった。大型株の多くが前日終値を割り込み、VN 指数は一時下げた。

予想通り、買い手も売り手もかなり慎重になっており、売買頻度は低下し、出来高もかなり減少した。

買い手は株価を押し上げなかった。一方で売り手も慎重になっており、なんでも売ろうとはしなかった。

マーケットは終日、前日終値付近で推移した。変動幅は 10 ポイント以下だった。

取引終盤、ベトコムバンク (VCB) の上昇により、VN 指数は盛り返した。しかし、値下がり銘柄数が多く、地合いは悪かった。

VN 指数は 0.01% と小幅高で終値は 1,277 ポイントとなった。一方で VN30 指数は 0.17% 安の 1,407 ポイントだった。

ハノイ市場の HNX 指数と UPCOM 指数は共に前日終値を上回ったが、値動きは乏しかった。

VN 指数はプラス圏を保ったが、引き続き値下がり銘柄数が値上がり銘柄数を上回った。

騰落別では 214 銘柄が値下がりし、141 銘柄が上昇した。

特に VN30 指数の組入銘柄のうち、16 銘柄が前日終値を下回った。

銀行株とビンググループ（VIC）は上昇が目立った。

VN30 指数の中で、ベトコムバンク（VCB）は 2%を超える値上がりとなり、上昇率トップ。続いてヴィエティンバンク（CTG）、HD バンク（HDB）が 1%を超える上昇、TP バンク（TPB）、軍隊商業銀行（MBB）、ベトナム投資開発銀行（BID）は前日終値を超えた。ビンググループ（VIC）が+0.9%、ホアファットグループ（HPG）が+1.1%、SSI 証券が+0.8%とそれぞれ上昇した。

一方で、値下がり率トップはノバランド不動産投資グループ（NVL）で 2.3%の下落。それに続き、カンディエン不動産（KDH）VP バンク（VPB）ビンホームズ（VHM）がそれぞれ 1%下落した。

ホーチミン市場の売買代金は 13 兆ドン超と、マーケットの出来高は低水準が続くと予想される。外国人投資家は買い越したが、売買代金はたった 600 億ドン超だった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。